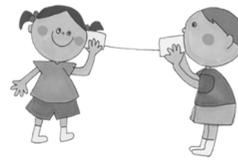


いと 系でんわ



平和学習のまとめ

平和学習のまとめとして、先週は teams を使い、1クラス1名の代表者が調べた内容を学年全体に発表しました。調べた内容は、沖縄戦や基地問題など7つの視点から沖縄の過去だけではなく、未来についても考えることができました。

2学期に人権学習した「ハチドリの一滴」を思い出しましょう。

森が燃えていました。森の生き物たちは、われ先に逃げました。

クリキンディは、口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは、火の上に落としていきます。

動物たちがそれをみて、「そんなことをして、一体何になるんだ」と笑います。

それでも、「私は、私にできることをしているだけ」クリキンディは答えました。

1. 発表の感想

●沖縄には、正の面と負の面があると思いました。例えば4組と6組の発表は、沖縄の美しい自然や固有種、文化・食事について沖縄の正（良いところ）を知りました。その他の発表は、戦争の悲惨な記憶や、今なお続く米軍基地など、戦争の爪痕の色濃く残る沖縄の実態が痛いほど分かりました。

●沖縄戦の話で、戦争はカッコいいと思った人が戦争に参加し、亡くなったりして、改めて戦争の怖さを知ることが出来た。米軍が「銃剣とブルドーザー」で住民の土地を奪い、その時、どんな気持ちだったのだろうと思いました。

●沖縄戦が終わって、日本は戦争のない国だけど、まだ、苦しんでいる人がいると聞いて、すごく悲しい気持ちになった。早く沖縄に住んでいる人たちが幸せと思える、苦しんでいる人がいないところになったらいいなと思った。

●ひめゆり学徒隊について、1日1つのおにぎりが最終的にはピンポン玉のような大きさまで減ったことが分かり、とても残酷だし、今じゃありえないなと思いました。改めて、当たり前のように毎日ご飯を食べられている事に感謝しないといけないと感じました。

●市民が収容所に強制的に入れられている間に、ブルドーザーで家を破壊したと知って、衝撃を受けました。亡くなるのも、もちろん嫌だけれど、自分の居場所を奪われるのも同じくらい嫌だったんじゃないかなと思いました。

2. 将来、日本が平和な国と言えるためには、自分は何をしますか？

●自分一人で「戦争のない国」や「平和な国」を作るのは無理だから、まず、平和について深く理解することが大切だと思う。

●自分では何もできない。自分はまだ14歳だし、国を平和にするには自分は無力すぎる。だけど、平和について考えたりすることは、大事だと思うけど、日本を平和にすることは簡単にはできない。戦争について知ることや伝えることで、国民の意識が動けば、日本が平和になる一歩だと思う。

●戦争を知らない人にただ話をしても、「そんなことがここであったんだ」と軽く終わらせることができちゃう。過去を受け継ぐ、知ってもらうためには関連するものを少しでも見ること、そして、「〇〇があったからこうなった。」「〇〇をもう一度してはいけない」と思うこと。それを誰かと「共有する」ことが平和の大切さに気付くと思う。

●戦争のことを語り継いでいくことだと思った。実際に体験をした訳ではないけど、語り継いでいかないと、また同じ過ちを繰り返してしまうかもしれないから、将来の日本のためにでも、繋いでいかないといけないと思いました。

3. 西中学校の全員が『平和』と言えるためには、自分は何をしますか？

●正直、西中学校の全員が「平和」と言うために、自分ができることはないと思う。でも、自分が仲良くしている友だちから始めていくと、その友だちの友だち、友だちの友だちって、繋がっていくと思う。

●ほんの少しの問題からも目をそらさないこと。少しでも居心地が悪いつて思ったら、それは安心して言えないと思う。だから、感じたことはすぐに誰かに相談する。

●誰もが、人と相性が合う訳ではないので、それはそれでいいんじゃないかなと思う。だけど、それを理由に「いじめ」たりするのは違うと思うので、一人ひとりの個性があるってことを理解することが大切だと思う。

●みんながもっと良く周りのことを見たり、学年全員が相談できたり、みんながみんなを変えていき、良い環境をつくる。みんなから相談される人になれるようにしたい。